

# 同窓会だより

第 26 号

広島大学総合科学部同窓会

2020年12月

## 世界に羽ばたけ、総科生



(現在の総科キャンパス)



(正面玄関のモニュメント)



(東千田町旧広大キャンパス)



(旧総合科学部棟)

### 「新学部長からのご挨拶と近況報告」

総合科学部長・総合科学研究科長 関矢 寛史

総合科学部同窓会の皆様、いつも多くのご支援をいただき誠にありがとうございます。令和2年4月より総合科学部長ならびに総合科学研究科長の役職を仰せつかった関矢と申します。総合科学部では平成30年度に英語で授業を履修する国際共創学科を新設し、総合科学科120名、国際共創学科40名の計160名の定員となって3年目になります。まだ国際共創学科の卒業生は出ていませんが、来年度は総合科学部と同様にユニークな卒業研究に取り組んでほしいと願っています。また、国際共創学科には母国語が日本語でない学生も多いますが、総合科学科と国際共創学科の学生たちが今後よい刺激を与え合って、総合科学部の強みである多様性を受け入れる幅広い心を養っていただきたいと思っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で4月の入学式やガイダンスも中止になり、第1、第2タームではオンライン授業を行ってきました。このような状況においても、いち早く学部2年生が自主的に、LINEやTeamsなどのオンラインツールを使って友人ができにくく困っている新入生に支援の手を差し伸べてくれました。新入生を励ます動画を作成したり、教養ゼミという新入生が履修する授業とは異なるグルーピングによるグループ活動を企画したり、新入生にアドバイスを送るとともに心の支えになってくれました。第3タームからは少人数の授業や実習、実験を中心に対面授業が増えてきましたが、多くのオンライン授業も行われています。課外活動は体育会や文科系サークルの多くは活動が再開されましたが、まだ活動停止となっているサークルも多くあります。早くすべての課外活動が再開されることを願っています。

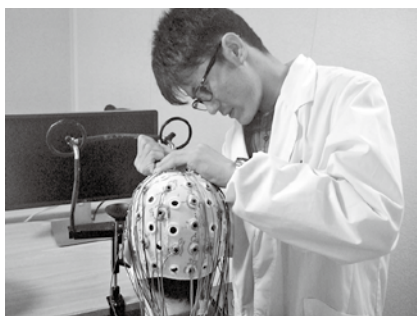
我々教職員は、学生が実家やアパートでオンライン授業を受け続けることによる心理的ストレスを心配し、学部の全学年を対象に3週間ごとにメンタルヘルスに関するオンライン・アンケートを行ってきました。その結果をチューター・指導教員に伝え、チューター・指導教員が学生に頻繁に連絡を取り、必要に応じて保健管理センターなどの専門機関を紹介するようにしました。

ところで広島大学では研究科の再編が行われ、総合科学部の教員は人間社会科学研究科、先進理工系科学研究科、統合生命科学研究科という3つの研究科に配属となりました。大学全体で11あった研究科が、これら3つに医系科学研究科を加えた4つに再編されましたが、総合科学研究科の理念であった学際性を大学全体で目指す方向にシフトしたことになります。総合科学研究科にはまだ多くの大学院生が在籍していますが、学際性を目指す本家本元の研究科として、学位取得に向けて頑張っていたきたいと思います。

研究科再編を機に、総合科学部と総合科学研究科、そして3つの新研究科の学生が学際性の高い教育、研究に取り組めるように、今年度から新たな趣旨で総合科学推進プロジェクトを募集しました。これは総合科学部の教員が、指導する大学院生や学部生を巻き込んで行う学際研究であり、その成果を学部1年生が履修する「総合科学へのいざない」などの授業で総合科学の具体例として呈示し、研究と教育の両方に活かすことを目指しています。また、大学院生や学部生が学際研究プロジェクトや研究・学習の促進を目指して申請できる学生独自プロジェクトを募集し、学生の自主的活動に対して経済的支援を行うこととしました。

さて、昨年度「ひろだいそうか基金」が設立されましたが、すでに多くの皆様からご支援をいただきました。この基金は、総合科学部の教員が指導する学部生・大学院生のさまざまな学外活動を支援し、総合科学の教育・研究の発展に寄与することを目的としますが、今年度は留学に必要な語学能力試験を受験する際の経費の援助にひろだいそうか基金をさせていただきたいと考えています。今後さらに多くのご支援がいただ

けた際には、学生の社会貢献活動や初年次インターシップや現地調査・現地討論会などの活動の支援にも使わせていただきたいと思います。総合科学部同窓会の皆様におかれましては、これまで多くのご支援をいただいておりますが、ひろだいそうか基金でのさらなるご支援をいただければ幸いに存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



(人間行動科学)



(大山実習)



(コロナ対策で始まったオンライン授業)



(コロナ対策で仕切られた学食)



(図書館でのグループワーク)



(ゼミ)



(化学実験)

## 「総科生は議員向き？」

田中 伸武 (1977年入学・社会文化コース)

卒業後38年勤めた中国新聞社を62歳で退職。2020年9月の広島県府中町議選に立候補し当選。10月から議員として第二の人生をスタートさせました。人口日本一（5万2千）の町で、住民本位の開かれた町政をめざします。総科卒業生で議員になったのは私が初めてのようですが、多彩な進路が持ち味の学部だけに、仲間は増えるのではないのでしょうか。

選挙は総合科学だと言われます。もちろん学問ではありませんが、練り上げた政策を基に人物をPRするデスクワークとフィールドワークの組み合わせ。チラシ原稿やホームページづくり、選挙カーの街頭活動、個人や団体へのあいさつ回りなど方法は多種多様です。未知の人々へ志と政策を訴えていく工夫は、学際領域の模索と開拓に似ているかもしれません。

私には今堀誠二・初代学部長へのあこがれがありました。広島市長選に担がれそうになったこともある行動的な社会派学者です。今堀先生への思いを学部報「飛翔」（1994年9月1日号）に記しました。「社会正義実現のため、平和問題を考えるため、総科で学ぼうと…今堀先生に刺激された経験だけは心の支え…新聞社に入り…労働組合の専従にもなった…」。軟派で怠惰な学生生活を送ったことへの（表向きの）反省です。

私の立候補は、政党には所属せず、誰かの後継でもない、ゼロからの一念発起でした。記者として地域課題を報じながら「自分だったらこうするのに」と思うことが多々。定年後の人生を考える時、自由な立場で町づくりに関与できる議員の仕事にやりがいを感じました。報酬もいただける。友人も出馬をけしかけてくれる。会社で出世していなかったのも決断の後押しになりました。

生まれ育った町。自宅のある団地と小学校の同

級生を頼って後援会を立ち上げ、後援会長も幼なじみの開業医です。私は平和運動や労組歴などからリベラル系とみられましたが、政治信条より縁故による



(街頭演説をする筆者)

るツテがツテを呼び、支援者が広がりました。父母世代も「わが団地から町議を」と動いてくれました。

猛暑の運動期間。コロナ禍もあり、握手戦術や小集会が思うようにできない中、新聞形式で1万部以上作った後援会報は好評でした。ごみ集積場の公費助成や議会ネット中継など具体的な訴えが共感呼びました。社会文化コースで先生方がよく口にしていた「問題意識」で書いたものです。カンパもかなりいただき、事務所を借り、選挙カーを走らせ、車上運動員も雇いました。

かくして素人の右往左往選挙ながら、投票結果は目標を大きく上回る1,768票。20人中2位の当選（定数18）でした。期待の大きさを痛感しています。

これから議員としてチェックしていく町役場には、事務方トップ級の財務部長に胡子幸穂さん（1985入学・情報行動コース）がいます。「攻守」とともに総科生の経験を生かし、住民生活の向上と地方自治の発展に力を尽くします。

# 同窓会活動の紹介

～昨年度(令和元年度)の活動～

## 同窓会臨時総会をホームカミングデーと同時開催(11月2日開催)

決定事項 ⇒ 同窓会年会費を3千円から2千円に改定

報告事項 ⇒ 活動の一つ「同窓会名簿作成・頒布」を㈱サラトに委託

○その背景と狙い

- ・音信が途絶えがちの現状から、今一度名簿の充実を図り、活動の環境を整える。
- ・大学の各種事業再編の中で、学部の教育活動にも影響が出ていて、同窓会としても様々な学生生活支援を展開することが求められている。


(サラトとの契約概要)

- ・同窓会名簿の発行を3年から5年毎に変更
- ・サラトが同窓生の音信を確認し、同窓会と情報を共有管理(相互に)
- ・名簿は有償販売とし、サラトにおいて発行・頒布
- ・同窓会は卒業生・修了生分を有償購入し、新規同窓会入会者に配布

○学部に国際共創学科(定員40人)が創設され、同窓会としても受け入れていくことに。ただ海外からの入学者には、その声を聴きながら柔軟にと 決定。

## 総合科学部同窓会2019年度決算報告書

収入		支出		2019年度収支決算について監査した結果、適正に処理されていることを報告いたします。
前年度繰越金	3,277,646	事務人件費	27,000	
利子	29	会費等振込手数料	2,486	
2019年度年会費・入会費	1,218,536	郵送費(同窓会便り・総会案内状)	349,006	
		印刷費(同窓会便り・会費振込用紙)	301,350	
		慶弔費(大学院設立記念式典)	10,000	
		次年度繰越	3,806,369	
計	4,496,211	合計	4,496,211	

監査委員 宝宮浩之 

令和2年9月19日

## 最近の新たな取り組み

- 新入生ガイダンスでの同窓会活動や卒業生プロフィールの紹介  
学内で働く総科OB・OGの紹介 同窓会スタッフや大学職員など
- 卒業後各界で活躍するOB・OGによるセミナー形式での各業界の紹介
- 千田塾の主催する「キャリアデザイン講座」で総科卒業生が講義  
㈱村上農園 代表取締役社長 村上 清貴氏  
㈱中国四国博報堂 顧問 畑尾 武海氏  
㈱中国新聞社 常務取締役 北村 浩司氏  
広島中央環境衛生組合 副管理者 前延 国治氏  
(※役職は当時のもの)
- 同窓生と学生の交流(意見交換会)
  - ・学生と同窓会役員の意見交換会兼食事会(※会費制)  
同窓会役員理事 9名  
学部生 総合科学科(IAS) 9名  
国際共創学科(IGS) 2名
  - ・マスコミ人の会  
学生も飛び入り参加(右の写真)



(セミナーの様子)



(マスコミ人の会)



## 同窓会会員の皆様へお願い

関矢学部長からのご紹介にもあったように、「ひろだいそうか基金」の活用として、学生の社会貢献活動や初年次インターンシップ、現地調査や現地討論会の活動支援も考えておられるとのことですが、この背景には大学における学部・学科予算の緊縮があります。

学生は学費を支払っているのですから、カリキュラムの学習に係る経費はすべて大学で賄うべきところではありますが、大学の国立大学法人化以降は国からの予算配分が交付金化され、絞られて来ている関係で、学ぼうとする、頑張る学生にとっては、学ぶ為の自己負担が増えてきているようです。

せっかく、夢を追いかけ、様々な経験を積もうと頑張っている学生が、自身の経済的理由から、総科ならではの学びの機会に参加を見合わせるようなことは、断じてあってはならないと思います。

私自身、東広島市役所に在職中、様々なジャンルで市民と共に、その課題解決に取り組んでいる総科生を誇らしく思ってきただけに、経済的理由でそれが困難になるなど、黙って見過ごすことはできません。



私自身もしっかりと後輩を支援したいと思いますが、私一人ではその力は限られています。どうか卒業生の皆様お一人おひとりのお力添えをいただきたく、伏してお願い申し上げます。

少々言葉がきつくなりましたが、コロナ下でバイトも減ってしまった現状は、学生にとって大変だと思しますので、宜しく願いいたします。

追伸、直近の一年間のひろだいそうか基金への寄附は、13件、80数万円にとどまるそうです。

広島大学総合科学部同窓会

会長 前延 国治



## 「ひろだいそうか基金」手続きのご案内と留意事項

### (当基金への振り込み用紙をご案内する理由)

- ・同窓会の年会費を値下げしたこの機会に、コロナで様々な制約を受けている学生たちの活動を支援する取り組みに、同窓会としても参画することにしました。  
(学部からの要請)
- ・総科同窓会は、2024年に50周年を迎えます。記念事業を間近に控え、多くの同窓生が集えるよう、様々な企画を用意したいと考え、賛同をお願いしています。
- ・集めた浄財は  
基金分は、同窓会でまとめて「広島大学基金、ひろだいそうか基金」に送金します。  
50周年記念事業分は同窓会で大会用準備金としてプールし、その用途については、後日提案させていただきます。

### (同窓会からのお願い)

- ・同窓会では、会員の音信途絶や年会費を納入していただける会員数の減少に一同苦慮しておりますが、今後とも卒業生と現役生をつなぎながら、同窓生にあらゆる機会に大学や同期生を思い出し、互いの交流が生まれる取組みを進めて参りますので、ご協力をお願いいたします。  
※コロナ下で懇親会等も自粛される中、その1回分(5千円)を目安に、お気持ちをお願いしたいと存じます。

### (留意事項)

- ・広島大学基金では、ひろだいそうか基金の他にも、大学のホームページから様々なジャンルへの寄附を受け付けております。また、「番外編」のように、税制上の優遇措置も用意されております。皆様には息の長いご支援を賜れば幸いです。

### (番外編)

- 寄附に際して税制上の優遇措置を受けたいと考えられている方に
  - ・所得控除…寄附金額から2千円を控除した額が所得控除の対象となります
  - ・税額控除…最大で寄附金の4割弱が、税額控除の対象になります

(寄附金額-2,000円)×40%

# 2024年に50周年記念同窓会大会を開催します!!

総合科学部は2024年に設立50周年を迎えます。

総合科学部同窓会大会は2004年の30周年に初めて開催。200名近くが参加し、大変盛り上がりましたが、2009年の35周年は参加者が激減。40周年は学部の式典と同時に開催して多くの参加者となりましたが、昨年の45周年は開催を見送りました。

そして、満を持しての4年後の50周年記念同窓会大会です。

既に、同窓会では50周年の企画を検討し始めました。

30周年の際、「プロジェクト フェニックス」というショートムービーを制作。総合科学部の今堀誠二初代学

部長の設立への熱い思いや奮闘を描き、今では、重要な映像資料となっています。

50周年では、設立の際の機運や情熱を再認識する企画や、設立の地「千田町」をめぐるツアー等を考えています。

2024年は、広島大学は設立75周年。もっとも古いルーツの白鳥学校から150周年の年でもあり、様々な企画・行事が行われると思います。

その中で、埋没せず、より総合科学部が光り輝く同窓会企画を行いたいと思いますので、ご協力、よろしくお願いたします。

アイデアも募集します!!

## お知らせ

### 同窓会のホームページ

総合科学部同窓会ホームページでは、新着情報、同窓会からのお知らせ、「同窓会だより」のバックナンバー等をいつでも見ることができます。また、住所等の変更もここでできますし、卒業生間の親睦を深めるための「卒業生伝言板」もあります。

皆様ご利用ください。ご意見、ご希望もお寄せください。

### 広島大学基金のご案内

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/kifu>

### 総合科学部同窓会

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/soukaoba>

### 同窓会費納入のお願い

我々の同窓会は皆様からの年会費で運営されております。同窓会の活動をご理解いただき、本年度の会費の振込を何卒お願い申し上げます。会費振込には、同封のコンビニ振込用紙をご利用ください。

会費は、2,000円に値下げしておりますが、今年から皆様の利便性を高めるため、コンビニ支払いに切り替えておりまして、その関係で発生する手数料等も乗せて300円を加算しておりますので、宜しくお願いたします。

### 「ひろだいそうか基金」

### 「総科50周年記念事業」のお願い

振込金額をご自身で決めていただく関係で、郵便局での払込とさせていただきます。各々の金額明細をご記入のうえ、総額を振込んでください。事務局で振り分けて送金、管理いたします。

### 住所変更等（名簿の管理）

住所変更等がございましたら、総合科学部同窓会ホームページの名簿変更用フォームよりご送信ください。

#### ●名簿担当

平山 恭之 TEL 082-424-6519

yhiraya@hiroshima-u.ac.jp

### 同窓会の連絡員募集

総合科学部同窓会では、会員の関係を密にし、より活発な活動を行うため、それぞれの卒業年度から2名程度の連絡員を募集しています。やってみたいと思われる方は、同窓会広報担当（下記）までご連絡ください。より充実した同窓会活動ができるよう、会員の皆様の積極的なご協力をお願いいたします。

#### ●田中伸武 nbtnk@ms10.megaegg.ne.jp

#### ●畑尾武海 TAKEMI.HATAO@hakuodo.co.jp

### 「同窓会だより」原稿募集

皆様からの原稿を募集しています。総科にまつわる話題や近況報告等を是非お知らせください。記事のリクエストも募集しています。また、「世界に羽ばたけ、総科生」と「退職・転出教員からのメッセージ」に取り上げてもらいたい人の募集もしています。自薦、他薦は問いません。「同窓会だより」に関する連絡は下記までお願いたします。

〒739-8521 東広島市鏡山1-7-1

広島大学総合科学部

#### ●東谷誠二 TEL 082-424-6546

seiji@minerva.ias.hiroshima-u.ac.jp

#### ●宗尻修治 TEL 082-424-6362

munejiri@hiroshima-u.ac.jp

#### ●山本幹雄 TEL 082-424-4625

mikiyo@hiroshima-u.ac.jp